

地域課題の解決に向けた取組

地域との協力による効率的な森林整備について

空知森林管理署

【はじめに】

空知森林管理署は、石狩空知森林計画区の夕張山系地域の6市5町に広がる、約16.4万ヘクタールの国有林野を管理経営しています。

これらの森林は、木材を供給するだけでなく、国土の保全や水源の涵養、地球温暖化をもたらす二酸化炭素の吸収・貯蔵、レクリエーションの場や野生動植物の生息環境提供など、森林の有する多面的な機能の発揮、地域産業の振興など重要な役割を担っています。

【地域林業の活性化に向けた現状と課題】

地域の人工林が伐期を迎える中、民国が連携して森林施業を一体的に実施する「施業の集約化」や収益性向上を図る「新しい林業」の普及・推進をしていく中で、地域林業の活性化に向けた取組が期待されています。

【地域林業関係者との連携】（芦別市）

令和5年3月1日、芦別市落辺（おちのんべ）地域の市有林13.24ヘクタールと隣接する国有林191.50ヘクタール、合計204.74ヘクタールを対象として、地域の森林を一体的に整備し効率的な施業を進めることを目的に「芦別市落辺地域森林整備推進協定」を芦別市と締結しました。

合理的な路網整備や効率的な森林施業を実施し、芦別地域の林業の活性化や発展に繋げる取組として、路網の共同利用などを連携して進めています。



【地域林業関係者との連携】（由仁町）

由仁町とJFEエンジニアリングは、バイオマスエネルギーの安定的・効率的な供給を図るため、由仁町伏見地区の国有林に隣接した森林を含む町有林約7ヘクタールを対象として「森林整備に関する協定」を締結しています。しかし、町有林の整備には国有林内を通行することが必要となり、また、隣接する国有林で間伐した際に木材を搬出するためには、町有林内を通行することが必要となるため、相互通行など連携した取組が求められていました。

そのため、当署、由仁町、JFEエンジニアリング、南空知森林組合の4者が現地確認・協議を行い、当署と由仁町において、令和7年3月27日、由仁町伏見地区の町有地33.89ヘクタールと隣接国有林356.92ヘクタール、合計390.81ヘクタールを対象として、森林の多面的機能の高度発揮と資源の循環利用を図ることを目的に「由仁町伏見地区森林整備推進協定」を締結しました。



【今後に向けて】

国有林のフィールドや技術力を活用し、地域のニーズを踏まえ、木育や森林環境教育などを通じた森林・林業技術者等の育成に向けた取組を実施していくとともに、地域林業の発展、森林の持つ公益的機能の高度発揮や森林資源の循環利用による地球環境の保全に貢献していきます。